



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社シャルレ 上場取引所 東  
コード番号 9885 URL <https://www.charle.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 勝哉  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 千本松 重雄 TEL 078-792-8565  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,365	1.2	659	74.8	713	71.4	662	-
2023年3月期第3四半期	10,240	△16.9	377	△76.1	416	△74.0	△444	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 671百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 △476百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	41.87	-
2023年3月期第3四半期	△28.09	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	20,558	18,350	89.3
2023年3月期	20,485	17,806	86.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 18,350百万円 2023年3月期 17,806百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	8.00	8.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,100	△1.2	330	31.4	380	26.0	310	-	19.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	16,086,250株	2023年3月期	16,086,250株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	250,942株	2023年3月期	250,835株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	15,835,363株	2023年3月期3Q	15,835,469株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類見直しによる経済活動の正常化が加速し、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加等を背景に、景気は緩やかな持ち直しが持続しました。一方で、不安定な為替相場や原材料価格の高騰など、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、現在遂行しております中期経営計画（2022年4月～2027年3月期）につきましては、事業構造改革に向け「シャルレビジネス事業の再生」として、働き方やライフスタイルが多様化する外部環境の変化を見極めつつ、事業再生に向けたビジネス環境の整備や魅力ある商品開発、企業ブランディングなど、各事業戦略に取り組みました。

「新規事業開発による新たな柱の創造」におきましては、国内では、ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業における営業体制の強化及び新製品の開発に取り組むとともに、M&A・提携等による新事業の開発は、中期経営計画のブラッシュアップにより再構築を行っております。海外では、ベトナムでの販売代理店の拡大や台湾での自社ECサイト等での販売及び認知度向上に向けた取り組みを推進いたしました。

なお、2023年10月30日開催の取締役会において、当社従業員の働き方改革推進強化の一環と、組織の風土改革や施設維持管理コストの効率化などを目的に、現在の本社ビル（神戸市須磨区）からシャルレポートアイランドビル（神戸市中央区）に本社を移転することを決議しております。また、現在の本社ビルの土地・建物については売却に向けて検討中であります。本社移転にともなう業績への影響は現在精査中であり、詳細が分かり次第、速やかに開示いたします。

報告セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### (レディースインナー等販売事業)

品目別売上高	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	増減率 (%)
衣料品類（百万円）	6,592	6,954	5.5
化粧品類（百万円）	1,531	1,657	8.3
健康食品類（百万円）	686	751	9.5
その他（百万円）	461	308	△33.1
合計（百万円）	9,272	9,673	4.3

営業施策面におきましては、コロナ禍により中止や縮小を余儀なくされておりましたが、ビジネスメンバー向けのインセンティブ付コンテスト「シャルレイジングコンテスト2023」を9月～11月にかけて実施し、ビジネスメンバーの活動をサポートするとともに、販売意欲の喚起に繋げました。ビジネスメンバー育成に関しましては、オンライン説明会と対面による説明会の併用により、開催数や動員数が増加し、結果としてビジネスメンバー育成数が増加しておりましたが、前述のコンテスト実施により販売活動へ注力したことなどにより育成数の伸びは鈍化しました。

商品面におきましては、衣料品類では、新定番商品として、4月に皮膚の動きにフィットする当社独自の特許技術を用いたブラジャーやガードル、9月には簡単に装着でき腰まわりを無理なくサポートする腰ケア商品を発売し、高い商品評価により好調に推移いたしました。また、11月には血行の促進が期待できる「アース繊維®」を使用し、着用することにより何気ない日常生活の中から健康をサポートする商品（ボディーウォーマーやアイマスク等）を数量限定で発売いたしました。

化粧品類では、当社での化粧品ブランド発売20周年を記念した特別限定商品の発売とともに、販促キャンペーンを実施し、好調に推移いたしました。

健康食品類では、健康的な毎日の生活に貢献する商材として、8月にさつまいも発酵クエン酸を原料とした希釈タイプの清涼飲料水「黒こうじの恵み」、12月に黒しょうがと高麗人参などの天然由来の成分を配合した、しょうが湯「ほっと黒しょうが」を数量限定で発売いたしました。

以上の取り組みに加え、6月より主要定番商品において、原材料価格やエネルギー資源の高騰などによる価格改定を実施したことによる、一時的な駆け込み需要の発生が売上の増加に大きく影響いたしました。また、6月以降その反動がみられたものの、当第3四半期連結累計期間の売上高は、96億73百万円（前年同四半期比4.3%増）と増収となりました。

セグメント利益は、売上高の増加や固定費削減の効果もあり、5億50百万円（同73.6%増）と大幅に増加しました。

(ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業)

営業施策面におきましては、美容への作用が期待できる節水シャワーヘッドの各種展示会への出展や卸売先の新規開拓などに継続して取り組み、OEM製品の生産やホテルや美容室などの事業者向け販路の拡大に向けた取り組みも継続しております。

製品面におきましては、ウルトラファインバブル技術を活用し、消費者の嗜好に合わせた新規製品の開発や卸売先のオリジナル製品の開発などを進めるとともに、各方面と協働し異分野での技術転用の可能性についても研究開発に引き続き取り組んでまいります。

以上のような取り組みを行いました。シャワーヘッド市場における新規参入事業者の増加などによる競争はさらに進行しており、特にEC販売における価格競争は激化していることから、売上高は7億4百万円（同29.6%減。セグメント間の内部取引高を含む）と大幅な減収となりました。

セグメント利益は、前連結会計年度に原材料高騰が課題であった、真鍮部品・金属切削加工事業を新設分割し株式譲渡したことにより利益率が改善し、1億57百万円（同44.0%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、売上高は103億65百万円（同1.2%増）、営業利益は6億59百万円（同74.8%増）、経常利益は7億13百万円（同71.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億62百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億44百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、投資有価証券の増加9億89百万円、商品及び製品の減少5億16百万円、流動資産のその他の減少3億23百万円等により、前連結会計年度末に比べ72百万円増加し、205億58百万円となりました。なお、流動資産のその他の減少の主な要因は、未収還付法人税等の減少1億95百万円、未収消費税等の減少1億44百万円等によるものであります。

負債は、賞与引当金の減少1億75百万円、買掛金の減少1億55百万円、事業整理損失引当金の減少73百万円等により、前連結会計年度末に比べ4億71百万円減少し、22億7百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当1億26百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益6億62百万円の計上により、前連結会計年度末に比べ5億44百万円増加し、183億50百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は89.3%（前連結会計年度末は86.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月30日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,239	11,366
受取手形	11	—
売掛金	195	135
商品及び製品	2,995	2,478
仕掛品	9	20
原材料及び貯蔵品	78	63
その他	497	173
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	15,025	14,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	859	818
機械装置及び運搬具（純額）	196	179
工具、器具及び備品（純額）	110	101
土地	940	940
リース資産（純額）	35	11
その他	119	133
有形固定資産合計	2,262	2,185
無形固定資産		
のれん	36	25
その他	1,163	1,053
無形固定資産合計	1,199	1,078
投資その他の資産		
投資有価証券	366	1,355
繰延税金資産	31	14
退職給付に係る資産	929	965
その他	673	723
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	1,997	3,055
固定資産合計	5,459	6,319
資産合計	20,485	20,558

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	575	420
1年内返済予定の長期借入金	7	7
リース債務	26	6
未払金	630	590
未払法人税等	36	14
契約負債	125	73
賞与引当金	258	83
事業整理損失引当金	73	—
その他	162	236
流動負債合計	1,896	1,433
固定負債		
長期借入金	18	13
リース債務	9	4
長期未払金	140	110
契約負債	196	196
繰延税金負債	288	326
退職給付に係る負債	129	122
固定負債合計	782	774
負債合計	2,679	2,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	100
資本剰余金	4,897	8,398
利益剰余金	9,549	10,085
自己株式	△131	△131
株主資本合計	17,915	18,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△54	△57
退職給付に係る調整累計額	△54	△43
その他の包括利益累計額合計	△109	△101
純資産合計	17,806	18,350
負債純資産合計	20,485	20,558

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	10,240	10,365
売上原価	5,014	5,191
売上総利益	5,226	5,174
販売費及び一般管理費	4,848	4,514
営業利益	377	659
営業外収益		
受取利息	0	1
貸倒引当金戻入額	0	0
雑収入	40	55
営業外収益合計	40	57
営業外費用		
支払利息	0	0
雑損失	0	3
営業外費用合計	1	3
経常利益	416	713
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取保険金	—	19
特別利益合計	—	19
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別退職金	792	—
特別損失合計	792	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△376	732
法人税、住民税及び事業税	18	20
法人税等調整額	49	49
法人税等合計	68	69
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△444	662
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△444	662



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△444	662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	△2
退職給付に係る調整額	△4	10
その他の包括利益合計	△31	8
四半期包括利益	△476	671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△476	671
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2023年6月27日開催の第48回定時株主総会の決議に基づき、2023年8月1日付で減資の効力が発生し、資本金を35億円減少させ、同額をその他資本剰余金に振り替えております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は1億円、資本剰余金は83億98百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	レディース インナー等 販売事業	ウルトラファ インパブル技 術製品等製造 販売事業	計			
売上高						
衣料品類	6,592	—	6,592	6,592	—	6,592
化粧品類	1,531	—	1,531	1,531	—	1,531
健康食品類	686	—	686	686	—	686
その他	461	967	1,429	1,429	—	1,429
顧客との契約から生じる収益	9,272	967	10,240	10,240	—	10,240
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,272	967	10,240	10,240	—	10,240
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	32	32	32	△32	—
計	9,272	1,000	10,273	10,273	△32	10,240
セグメント利益	317	109	426	426	△49	377

(注) 1 セグメント利益の調整額△49百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△50百万円、セグメント間取引消去0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	レディース インナー等 販売事業	ウルトラファ インパブル技 術製品等製造 販売事業	計			
売上高						
衣料品類	6,954	—	6,954	6,954	—	6,954
化粧品類	1,657	—	1,657	1,657	—	1,657
健康食品類	751	—	751	751	—	751
その他	308	692	1,001	1,001	—	1,001
顧客との契約から生じる収益	9,673	692	10,365	10,365	—	10,365
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,673	692	10,365	10,365	—	10,365
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	11	11	11	△11	—
計	9,673	704	10,377	10,377	△11	10,365
セグメント利益	550	157	708	708	△48	659

(注) 1 セグメント利益の調整額△48百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△48百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。